

会 議 録

会議の名称	令和3年度（2021年度）第2回豊中市スポーツ推進審議会		
開催日時	令和3年（2021年）9月 16日（木）13時30分～14時50分		
開催場所	豊中市役所第一庁舎4階 第1会議室	公開の可否	○可・不可・一部不可
事務局	都市活力部 スポーツ振興課	傍聴者数	—
公開しなかった理由			
出席者	委員	浦委員 児島委員 榊委員 田島委員 野老委員 雛田委員 藤森委員 松代委員 吉倉委員 （五十音順）	
	事務局	長坂都市活力部長 上原都市活力部次長兼スポーツ振興課長 小松主幹兼課長補佐 後藤振興係長 荒谷企画係長、松下主査、小林	
	その他		
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1) 会長・副会長の選任について 2) 豊中市スポーツ推進計画の進行管理について 3) 次期スポーツ推進計画に係る市民アンケート調査項目について 4) その他 		
審議等の概要 (主な発言要旨)	<p>別紙のとおり。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、WEB会議にて行った。</p>		

【事務局】

ただいまより、令和3年度第2回豊中市スポーツ推進審議会を開催する。
開会に先立ち、長坂部長より挨拶をする。

<長坂部長：開会の挨拶>

【事務局】

次に、本日の資料について確認させていただく。

<事務局：資料の確認>

【事務局】

<事務局：資料①「豊中市スポーツ推進審議会の公開について」に基づき説明>

豊中市では、市民に開かれた市政を進めるため、情報公開に努めている。「豊中市情報公開条例」第23条に「附属機関等の会議は公開するものとする。」となっているため、本審議会においても、公開としているのでご了承願う。

【事務局】

当審議会の議長は『豊中市スポーツ推進審議会規則』第4条第1項の規定により会長が務めることとなっているが、本日の審議会は委嘱後最初の審議会であるため、会長が選任されていない。会長が選任されるまでの間、同規則附則第2項の規定により、市長が議長を務めることとなっているが、本日市長は所用のため欠席となっているので、代わりに部長が代役を務める。

【部長】

まず、当審議会の説明と委員、事務局関係職員の紹介を事務局に求める。

<事務局：資料②関係法令に基づきスポーツ推進審議会について説明>

<事務局：第21期スポーツ推進審議会委員ならびに事務局関係職員の紹介>

【部長】

審議に入る前に、定足数の確認を求める。

【事務局】

定足数について、審議会委員10名の内9名の委員が出席し、『豊中市スポーツ推進審議会規則』第4条第2項による、会議開催要件である委員の過半数の出席を充足しているため、本審議会が有効に成立していることを報告する。

案件 1) 会長・副会長の選任について

【事務局】

『豊中市スポーツ推進審議会規則』により、「会長及び副会長は、委員の互選によって定める。」こととなっている。

【部長】

委員の互選とのことだが、推薦等はあるか。

【委員】

スポーツの専門分野の学識経験者であられ、前期のスポーツ推進審議会の会長を務められた、野老委員を会長に推薦する。

【部長】

野老委員との推薦があったが、野老委員が会長にご就任いただくということでよいか。

<各委員：異議なし ⇒ 野老委員：承諾>

【部長】

副会長の選任について、推薦等はあるか。

【会長】

スポーツの専門分野の学識経験者であられ、前期のスポーツ推進審議会でも副会長を務められた、田島委員を副会長に推薦する。

【部長】

田島委員との推薦があったが、田島委員が副会長にご就任いただくということでよいか。

<各委員：異議なし ⇒ 田島委員：承諾>

【部長】

ご就任いただいた野老会長と田島副会長に一言ご挨拶願いたい。

<野老会長・田島副会長：就任の挨拶>

【部長】

当審議会の議長は『豊中市スポーツ推進審議会規則』第4条第1項の規定により会長が務めることとなっているため、これをもって議長の交代を行う。

<長坂部長から野老会長へ議長の交代>

【会長】

それでは、長坂部長から当審議会への諮問を受ける。

<長坂部長：「豊中市スポーツ推進計画の進行管理及び次期スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査項目について」諮問>

【会長】

次の案件に入る前に、事務局に前回の審議会の振り返りを求める。

<事務局：資料④令和3年度（2021年度）第1回豊中市スポーツ推進審議会 会議録に基づき、前回の審議会の振り返り>

案件2) 豊中市スポーツ推進計画の進行管理について

【会長】

案件2)「豊中市スポーツ推進計画の進行管理について」事務局からの説明を求める。

<事務局：資料⑤豊中市スポーツ推進計画事業実施状況及び評価報告書 令和2年度（2020年度）実施分（案）に基づき説明>

主な説明内容

・2ページ、重点施策の進捗度については、重点施策1、2の合計が43.2点となり、令和元年度の80.9点を大きく下回った。低下した要因は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、施設の休館、事業の中止や、教室の定員の見直し、参加者数の減少の影響によるものである。

・3ページ、全事業施策体系4つの柱の合計が50.0点となり、令和元年度の79.3点を大きく下回った。重点施策同様、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う影響が要因となっている。

・2ページ、3ページの「審議会の意見（案）」については、例年「分析結果」とし、審議内容を反映させたのち、「審議会の意見」としていたが、今回より「審議会の意見（案）」として事務局が案を作成し、答申時には（案）をとることとする。

・4ページ、円グラフ左、「事業No.9 スポーツを通じた生活習慣病予防の推進（とよなか百万歩ウォーク）」は令和元年度をもって廃止した。また、令和2年度からの新規事業として「事業No.153 健康マイレージ事業「大阪健活マイレージ アスマイル」」をあげている。当該事業は廃止した「事業No.9 スポーツを通じた生活習慣病予防の推進（とよなか百万歩ウォーク）」を統合した新規事業であるため、施策体系など同じ体系として扱う。

・6ページ、4.「重点施策の達成状況」(3)「スポーツ施設のあり方の検討」のなかで、令

和2年度の取組み内容を説明。

・7ページ、5.「指標と目標」のなかで、(1)「スポーツ実施率の向上」について、令和2年度は調査を実施しなかったため、成人の週1回以上のスポーツ実施率は把握されていない。令和元年度においては、教育委員会が作成した「豊中市教育振興基本計画策定に向けたアンケート調査結果報告書」における「運動・スポーツの実施状況」の結果を参考数値としているが、課題となっていたウォーキングや体操などもスポーツに含むことを明確にして設問することで、成人の週一回のスポーツ実施者の割合は44.5%で、平成29年度の38.4%を上回った。今年度実施するアンケート調査においても、スポーツの定義を明確にして設問する。

・8ページ、(2)子どもの体力向上について、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、スポーツ庁が全国体力・運動能力、運動習慣等調査の中止を決定したため、本市においても実施していない。令和2年度に実施したその他の取組み内容を説明。

・13ページ、(3)スポーツ活動を支える環境の充実について、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、屋内・屋外とも目標値には達しなかった。特に屋内体育施設は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用制限に加え、空調工事等に伴う休館もあったことから前年度を大きく下回り前年度比59.8%となった。一方、屋外体育施設は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館があったものの、前年度比94.0%であった。令和2年10月にグリーンスポーツセンターがリニューアルオープンしたことや、屋内体育施設に比べ、大会での使用日数が多かったことが要因と考えられる。

・例年、報告書の最後に資料編として小学校5年生男子・女子、中学2年生男子・女子の全国・大阪府・豊中市の種目別平均値と体力合計点平均値及び推移比較グラフを掲載しているが、今年度は調査未実施のため省略する。

【会長】

事務局からの説明について何か意見等はあるか。

【委員】

質問が3つある。1点目は、6ページのア)「スポーツを通じたまちづくりの推進」の中で、『実施設計の実施を見送りました』とあるが、『実施設計を見送りました』で良いのではないか。

【事務局】

そのように訂正する。

【委員】

2点目は、9ページから12ページに掲載されている『全国・大阪府・豊中市の体力合計点平均値の推移比較グラフ』について、昨年度の資料、令和元年度(2019年度)には、10ページ上段に(小学5年女子)と記載すべきところが、9ページ下段に記載がある。11ページ

上段に（中学 2 年男子）と記載すべきところが、10 ページ下段に記載がある。12 ページ上段に（中学 2 年女子）と記載すべきところが、11 ページ下段に記載がある。こうした過去の資料に誤記があった場合に、今後どのように対処するのか。

【事務局】

ご指摘のとおり、改ページ箇所を誤っていた。市ホームページは修正し、昨年配付した関係各所へは後日、差替えを行う。

【委員】

3 点目、45 ページのNo.53 各種スポーツイベントの実施（ラジオ体操やウォーキングの推進）について、令和元年度はラジオ体操及びウォーキングイベントの参加者数が 24,949 名で A 評価、令和 2 年度の参加者数は 2,342 名で同じく A 評価である。

コロナ禍の関係で、22,607 名の減少があっても A 評価となっている。その理由は備考欄に「指標と目標を設定する際、市が主催するラジオ体操やウォーキングのイベントの参加者数を指標とし、目標値を 400 人としていた。より多くの人を対象とした事業としていくために、平成 29 年度からスポーツ推進委員を活用し、地域での事業でラジオ体操を取り入れることにより実績値が大幅に増加した。」との記載が平成 30 年度から続いている。

しかし、7 ページの『5. 指標と目標』に記載されている「ビジョンを実施するために、達成すべき基本的な目標を設定します。目標は、本計画の最終年度である令和 3 年度（2021 年度）までとしますが、必要に応じて目標の見直しを行います。」とある。

どのような場合に目標を変更するのか事前に事務局に問い合わせたところ、7 ページの（1）「スポーツ実施率の向上」において指標とする「成人の週 1 回以上のスポーツ実施者の割合の目標値」、（2）「子どもの体力向上」において指標とする「小中学生の体力向上」（3）「スポーツ活動を支える環境の充実」において指標とする「スポーツ施設の利用者」であるとの回答であった。

そうであるならば、各事業の目標値の変更はできないのか。現実とかけ離れた数値を追いかけて評価をすることに違和感を覚える。

【事務局】

各事業については、計画作成時には具体的な指標を定めていなかったが、報告書作成の際に、どの数値をとるか指標を検討した結果、事業No.3 ラジオ体操やウォーキングの推進については、市の主催である「ラジオ体操及びウォーキングイベントの参加者数」とした。当初は、さほど実施できないと考え目標値を 400 人としたが、平成 28 年度に特別巡回ラジオ体操に出演したことを契機に、ラジオ体操の推進に力を入れ、スポーツ推進員が地域で活動する際の準備運動や「体育の日の事業」（令和 2 年度は「とよなか笑ってスポーツ」）の準備体操に取り入れることとなった。このような事業での参加者数をカウントしたところ、平成 29 年度から目標値を大きく上回る実績値となった。

【委員】

コロナ禍において実績値が下がれば、達成度も下がる。改善するにはどうすればいいのかと検討する PDCA サイクルが回るのではないかと考え質問させていただいた。

【会長】

他にご意見等はないか。

【委員】

委員のみなさんの意見を伺いたい。

現行のスポーツ推進計画は大人に向けた内容がほとんどであると考えるが、小学生や未就学児も含めて豊中市のスポーツ環境をどのように感じておられるか。それぞれの現場でどのようにとらえておられるのか、課題も含めて伺いたい。その意見が次期アンケートや計画に活かしていければよいと考える。

【会長】

コロナ以前と比べて現場でどのように感じておられるかということによいか。

【委員】

はい。特に子どものスポーツ環境について伺いたい。

【委員】

児童館で子どもの体操を指導していたが、昨年度から市の政策で児童館がなくなってしまった。それにより放課後、土曜日に子どもが気軽に遊べる場がなくなってしまった。居場所のない子どもたちが行ける場でもあったがなくなってしまう残念である。児童館で実施されていた、無料で参加できる運動やその他のプログラムに参加できなくなってしまった。ここで初めてする運動もあったはずであるが、そういう機会がなくなってしまった。子どもが気軽に、遊びから覚える運動を取り入れる場が地域や身近にあればよいと考える。

【会長】

ほかに意見はないか。

【委員】

二ノ切温水プールが今年の 3 月にリニューアルオープンし、夏休みのお盆期間に利用した。コロナ禍で入場制限をしており、夏休みなどは入場待ちができています。スマートフォンで順番がわかる仕組みができており、自身も 1 時間待ちで入場した。以前のコロナ禍ではない時期の二ノ切温水プールは入場制限もなかったためどんどん入場していたが、入場待ちがあったものの、きちんと整備されていて良い印象を受けた。特に、夏休みなどの長期休暇は、子どもがどこかに行きたがり、親も困ることがある。そういう家庭の娯楽の場にもなればよ

いと考える。

【委員】

スポーツの前の遊び場、居場所作りなど今後に活かせるようなキーワードを伺うことができ
てよかった。

【会長】

9 ページ以降で子どもの体力合計点の平均値が出ているが、中学2年生男子・女子につい
て、全国・大阪府より高い、もしくは同等となっている。どのような要因によって上がって
いると分析しているか。

【事務局】

本日は欠席であるが、中学校体育連盟会長に伺ったところ、本市は大阪府内の自治体に比
べて中学の部活動が盛んで、運動部への入部率も高いことなどからこのような結果に結びつ
いているのではないかと考えた。

【会長】

その他の要因、特に力を入れているということはないか。

【事務局】

現時点ではその他の情報は得ていない。中学校の運動部活動指導協力者派遣についても影
響しているのではないかと考える。

【会長】

ほかに意見はないか。

<委員：意見等なし>

【会長】

資料⑤、2 ページ、3 ページ下段「審議会の意見（案）」を本日の審議内容を踏まえ事務局
が修正する。

事務局が作成した最終案の確認については、会長・副会長に一任していただき、それを以
て答申としてよいか。

<委員：異議なし>

案件 3) 次期スポーツ推進計画に係る市民アンケート調査について

<事務局：資料⑥「次期スポーツ推進計画に係る市民アンケート調査項目について」説明>

- ・次期スポーツ推進計画に先立ち、市民を対象に生活や運動に関する状況を調査する。
- ・実施時期については、令和3年12月頃を予定している。
- ・アンケート調査対象は、平成24年度に豊中市スポーツ推進ビジョンを策定する際に実施した「生涯学習の推進に関する市民意識調査」と同様、18歳以上の市民3,500人を対象とする。
- ・回答方法は、返信用封筒での書面回答とQRコードを読み取りインターネットを通じた回答との2通りとする。
- ・設問については、先述の本市のアンケートや、令和2年度にスポーツ庁が実施したアンケートを参考に作成している。また、新型コロナウイルスの影響などを問う内容も盛り込んでいる。
- ・設問に対する意見は、9月30日までに所定の様式にてご提出いただきたい。

【会長】

意見としては、子どものスポーツに関する設問が少ないので、もう少し実態を把握できるような設問を加えてはどうか。

【事務局】

そのように修正する。

【会長】

このアンケートを実施するにあたり、何を目的に、結果をどのように利用して施策に活かしていくのか。

【事務局】

今回のアンケートは、平成24年度に豊中市スポーツ推進ビジョンを策定する際に実施した「生涯学習の推進に関する市民意識調査」の設問も入れており、8年間の豊中市の運動状況の変化をみたい。成人の週1回以上の運動実施率を問う設問についても、国と同様に運動・スポーツの定義を明確にして実施するので、国と比較できる。

現在、国の令和4年度以降のスポーツ基本計画が策定されているところであり、今年度中には公表されると考えるので、その内容を見ながら国と豊中市の状況を分析していきたい。

【会長】

ほかに意見はないか。

【委員】

前回のアンケート調査時の項目や報告書等があれば、お示しいただきたい。

【事務局】

承知した。

【委員】

アンケート配布数の 3,500 人は決定か。豊中市の人口からの割合として妥当なのかが気になった。子どもの運動について設問するのであれば、対象となる年齢の子どもがいる親の年齢層は限られてくるのではないか。無作為に抽出して、60 代以降が増えると、小学生くらいの子どもの数は減るのではないか。3,500 人を増やすなど事務局でアイデアはないか。

【事務局】

3,500 人を増やすことは、予算上難しい。30 代から 40 代の子育て世代への配付数を増やせるか検討する。

【会長】

ほかに意見はないか。

<委員：意見等なし>

案件 4) その他

<事務局：資料⑦「令和 3 年度（2021 年度）豊中市スポーツ推進計画及びアンケート調査スケジュール」に基づき説明>

○スポーツ推進計画

- ・10 月中旬 令和 3 年度（2021 年度）第 3 回豊中市スポーツ推進会議（資料の確認のみ実施）
- ・10 月下旬 答申、答申後 10 月中に事業実施状況及び評価報告書の公表

○アンケート調査

- ・設問項目等ご意見がある場合は、9 月 30 日までに回答様式にてご提出いただく。
- ・内容修正したものを第 3 回スポーツ推進審議会にて調整。
- ・12 月からアンケート実施。

【会長】

質問等はないか。

<委員：意見等なし>

【会長】

令和 3 年度（2021 年度）第 2 回豊中市スポーツ推進審議会は以上で終了する。